

## 市民ワークショップ結果

### 1. 市民ワークショップ実施概要

- ・第1回は宇都宮市の景観資源を理解し、景観を阻害する要因について考えることを目的として、街歩き及び、景観資源や景観阻害要因の視点から意見交換を実施
- ・第2回は地域資源の活用等、宇都宮らしい景観について考えることを目的として、市民だけでなく国内外の観光客にも魅力を発信していくために必要な景観のあり方・取組について意見交換を実施

ヒアリング先	日時	参加者数
第1回	平成30年10月24日 12:30~17:00	12名
第2回	平成30年11月4日 14:00~16:50	11名

### 2. 市民ワークショップ結果

表1 第1回WS結果

項目	現状把握	取組・対策
景観資源	<p>&lt;自然&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチョウやトチノキなどシンボリックな大きな木、花や街路樹もあり、<u>緑が多い</u>。</li> </ul> <p>&lt;郷土&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>二荒山神社</u>やカトリック松が峰教会など歴史的建造物がある。</li> </ul> <p>&lt;都市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>大谷石</u>は店舗の外壁など様々な場所に使用されており、まちなかでも見られる。<u>中心市街地</u>には大谷石の石蔵が点在している。</li> <li>・市街地を流れる<u>釜川</u>は道路の舗装や緑が整備されており、<u>都会の中のオアシス</u>である。</li> <li>・オリオン通りではオープンカフェなど賑わいがある。</li> <li>・歴史がわかる写真・説明付きプレートが設置されている。</li> </ul>	<p>&lt;大谷石の保全・活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化や維持管理等を考慮する必要があるが、<u>宇都宮の地域資源で統一感もあるため、積極的な活用を促す補助制度</u>を設ける。</li> <li>・大谷石の良さをアピールするため、<u>情報提供やテレビなどのメディアを活用</u>する。</li> </ul> <p>&lt;緑のメンテナンス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木や花などは定期的な手入れが必要</li> </ul> <p>&lt;サイン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域固有の「愉快だ宇都宮」アイコンの利用に連続性、共同性を追加する。</li> </ul> <p>&lt;景観に対する意識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を良くしていくためには、<u>良くない景観に気づくことが大事</u></li> </ul> <p>&lt;意識啓発の取組案&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観維持大賞や町内清掃コンクールなど、メンテナンスを評価する。</li> </ul>
景観阻害要因	<p>&lt;空き家・空き地・駐車場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松が峰教会周辺にある空き家と駐車場（コインパーキング）</li> </ul> <p>&lt;整備・維持管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大通りにあるアーケードの老朽化をはじめ、道路や歩道の舗装、ストリートファニチャーのメンテナンスが悪く、街路樹や釜川の植栽も手入れされていない。</li> <li>・放置自転車が見られる。</li> <li>・自転車道のブルーラインが美しくない。</li> </ul> <p>&lt;景観に対する意識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>住民の景観に対する関心が希薄</u>である。</li> </ul>	<p>&lt;空き家&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の有効利用に関する情報提供が必要</li> </ul> <p>&lt;整備・維持管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装や植栽のメンテナンス</li> <li>・大通りに相応しいアーケードの整備</li> <li>・来訪者に親切でわかりやすいサインの必要性</li> <li>・駐輪場は自転車をおしゃれな止め方ができるようなデザインにする。</li> </ul> <p>&lt;市民・事業者・市の連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>行政と住民の連携が大切</u></li> </ul> <p>&lt;景観に対する意識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に関するワークショップなど<u>地元の住民に地域の将来を考えてもらう機会</u>をつくる。</li> </ul>

表2 第2回WS結果(1)

項目	景観的な魅力はなにか	景観をより良くするために必要なことはなにか
3つの景観	<b>【自然的な景観(自然)】</b> ・日光連山や羽黒山, 古賀志山などの山並み ・遠くから(市内から)見える山々 ・郊外の田園風景 ・釜川の源流である弁天沼 ・トチノキ並木, 大イチョウ, 大ケヤキ	<b>&lt;景観の保全・活用&gt;</b> ・観光客に見せる河川の整備
	<b>【歴史的な景観(郷土)】</b> ・街なかの二荒山神社, カトリック松が峰教会 ・大谷石の地下採掘 ・神輿(ふるさと宮まつり)の賑わい	<b>&lt;中心市街地の活性化&gt;</b> ・(地元の人たちが)イベントで盛り上げる。
	<b>【都市的な景観(都市)】</b> ・石蔵や店舗外壁など, 大谷石がちりばめられた街 ・まちなかを流れる田川, 釜川 ・都市内にある里山景観(戸祭山, 八幡山など) ・街なかの3×3, サイクルロードレースなど非日常的な賑わい ・オリオン通りや郊外の大規模商業施設の都市的な賑わい	<b>&lt;大谷石の保全・活用&gt;</b> ・大谷石蔵の保存とともに, 素材としての大谷石の用途を拡大し, 大谷石の魅力を知ってもらう。 <b>&lt;景観の保全・活用&gt;</b> ・釜川の生態系, 緑のメンテナンス, 親水空間の整備が必要 ・里山にある施設を管理し, 里山の景観を守る。 ・賑わいを創出するため, オリオンスクエアを中心とした個人商店等の意識向上が必要

表3 第2回WS結果(2)

項目	宇都宮らしい景観づくりに必要なことは何か
宇都宮らしい景観	<b>&lt;LRT&gt;</b> ・LRTが起爆剤となり, 駅周辺や再開発計画等がより活発に行われることが予想されるため, 電停や車両基地などの拠点と周辺の自然や商業施設等を含めた, 沿道の風景を一体的に検討することが重要 ・エリアやゾーンを明確化し, 様々なスポットを回遊できる交通システムを整備するとともに, 外国人観光客にも対応するサインの多言語表記が必要 <b>&lt;大谷地域&gt;</b> ・大谷地域に新しく整備予定の施設を利用し, ジャズイベント等を活用した賑わいを創出する。 <b>&lt;中心市街地の活性化&gt;</b> ・釜川の生態系を豊かにし, 親水性の向上を図ることで, 人や植物にとってオアシスになる。 ・宇都宮の玄関口として, 大通りを眺められる視点場を来訪者に分かりやすいようにする。 ・学生の街で自転車利用者も多いため, 駐輪場をデザインし, レンタサイクルを活用する。またジャパンカップのサイクルロードレースが開催されているため, 自転車で有名な誇れる街にしたい。 <b>&lt;夜間景観&gt;</b> ・県庁の高層階展望から宇都宮の夜景を眺めることができる。 ・日光市との連携など, 夜の時間を過ごせる場所や賑わいを創出し, 宇都宮に宿泊してもらう。 <b>&lt;市民・事業者・市の連携&gt;</b> ・行政・民間が連携し, 来訪者へおもてなしをする。 <b>&lt;景観に対する意識&gt;</b> ・住民の意識を景観にも向ける。 <b>&lt;課題&gt;</b> ・中心市街地の空き家, 空き地, 駐車場が増えることが懸念される。 ・郊外の住宅団地の空き家が増える。 ・団地の老朽化が懸念される。